

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

「ずっとこの家で過ごしたい」

代々木病院

患者さんの希望を支援する
「在宅療養支援病院」に

山本 登美子 (師長)

診療報酬の改定の影響で、いままで「訪問診療」(俗にいう往診)は、クリニック千駄ヶ谷から外苑診療所、さらにはこの4月から、代々木病院で行うことになりました。

「自分らしく暮らしたい」「家族に囲まれて過ごしたい」「最後まで家族で面倒をみたい」というすべての方を医療の面からサポートしていきます。

また、病院には、在宅療養を支える「訪問診療、居宅介護支援事業所(いわゆるケアマネセンター)、通所リハビリ」が存在するところになり、入院機能と連携し、よりいっそう在宅で暮らす方々を多方面から支援する体制が整いました。

加えて、薬局の訪問薬剤指導や歯科センターの訪問歯科診療、また以前からの訪問看護(訪問リハビリを含む)とも連携し、寝たきりになっても、癌の末期であっても「自分

の住み慣れた家で過ごしたい」という方を応援することができるようになりました。

4月から移行した訪問診療は、代々木病院の医師を中心に8名の医師が、曜日毎に看護師と共に患者さんのお宅に訪問し、診療をさせていただきます。慢性疾患の管理、点滴や各種医療器具の交換、採血等の検査を行っています。

患者さんが実際の生活の一部として病気につきあっていく、という感じです。ご家族の方の大変さや喜びを、私たち医療者も共に感じるそんな診療ができています。

これにより、代々木病院は全国でもまだ数少ない「在宅療養支援病院」となりました。

身体面で心配な事ができたとき、24時間いつでも相談し、必要な

訪問看護(訪問リハビリを含む)とも連携し、寝たきりになっても、癌の末期であっても「自分

の住み慣れた家で過ごしたい」という方を応援することができるようになりました。

4月から移行した訪問診療は、代々木病院の医師を中心に8名の医師が、曜日毎に看護師と共に患者さんのお宅に訪問し、診療をさせていただきます。慢性疾患の管理、点滴や各種医療器具の交換、採血等の検査を行っています。

患者さんが実際の生活の一部として病気につきあっていく、という感じです。ご家族の方の大変さや喜びを、私たち医療者も共に感じるそんな診療ができています。

患者さんが実際の生活の一部として病気につきあっていく、という感じです。ご家族の方の大変さや喜びを、私たち医療者も共に感じるそんな診療ができています。



Aさん(中央)に優しく話しかける青柳医師(左)状態について話す息子さん(右)

「いつもみてくれる訪問診療は心強い味方です」「Aさんには」長

ゼリー状になった水分。熱中症対策に活用しています



週間投薬カレンダー。のみ忘れが無いこれで一目瞭然

Aさん (80代)

Aさんのお部屋は、代々木病院から自転車です。脳梗塞を繰り返して、また足を骨折しているためベッドから起き上がらず、息子さん(60代)が介護をしています。

「Aさんを」自分でみたいけれど、何かあ

「Aさんを」自分でみたいけれど、何かあ

Bさん (90代)

足の筋力の衰えなどで立ち上がれず、寝たきりのBさんは、息子さんのお嫁さん(70代)の介護を受けています。

夜はBさんは寂しいようです。就寝時に電気がつけたり消したり、「手袋がどっかい

「先生が」先生が

「先生が」先生が



Bさん(中央)の診察をする井上医師(左)と血圧を測る山本看護師(右)

「食卓で息子さんが」おふくろが

「先生が」先生が

「先生が」先生が



Bさん(右)について相談する井上医師(左)とお嫁さん(中央)

代々木病院訪問診療部

訪問診療の体制については、6面の「外来診療表」をどうぞご参照ください。

電話 03-3404-7684

手術台

「がんばろう！日本」「みんな力を合わせて」「日本人ならでき

「がんばろう！日本」「みんな力を合わせて」「日本人ならできる」「日本は日本ならできる」「日本は日本ならできる」